



竹島日本領の有力証拠発見

編入当時の記念写真

韓国は異議申立てなかった

日本海に孤島竹島をめぐって日韓
 間問題その領有が問題となつて
 いるが、愚竹島が日本領である
 ことを鮮明にする有力な証拠写真が
 発見された。水産庁東海区水産研
 究所中井甚一郎投資員（このアルバ
 ムから出てきたもので、明治二十
 八年月、当時の島根県知事松本
 武吉氏が現地を視察した記念写真
 だ。

中井氏の父兼三郎氏（昭和九年
 七十一歳で死した）は、当時海軍
 本部に、竹島を中心とする海
 域（ルカ）漁業に従事してい
 たが、そのころ竹島について政
 府も行政区分をはっきりしてい
 なかった。竹島には日本人が
 立入ってはいなかったが、中井兼
 三郎氏は「将来必ず紛争が起る」と
 明治三十七年九月二十九日
 付で、芳川顯正内相、小村壽木
 郎外相、酒浦善篤商務相にあ
 て「竹島を日本領土に編入、異
 議なき」と申請、翌三十八年
 二月二十二日付で島根県に編入

することに決定した。これは
 外務省でも有力資料として認め
 ている（写真はその直後第三編
 版丸（二〇〇）に収められた
 行だったもので、中列中央の
 ドリをばねした機打筒が松本知
 事、一人おいて右となりが東文
 閣副閣長、最後列中央機打筒が
 中井兼三郎氏。
 韓国併合（明治四十二年）直前に
 日本政府がこの竹島編入の行政措
 置をとったのに対し、当時韓国側
 は何ら異議を申立てていない。こ
 れは韓国で竹島が日本領だと認め
 た証拠だと中井投資員は主張して
 いる。